

## 大芦小学校 PTA（保護者） 意見交換会

令和4年4月9日（金）11時45分から13時00分  
大芦小学校

① 参加者（9名）

② 出席者

鳥沢教育部副部長      新井副主査      堀主任

③ 以下、主な意見要旨

---

（保護者）

大芦小学校、小谷小学校を吹上小学校と統合した際に、教室数が不足することはないか。

（事務局）

令和5年度より洲崎橋の危険を回避するため、北新宿地区在住の児童は通学区域が下忍小学校に変更となる。

北新宿地区在住の児童数を鑑みると、大芦小学校や小谷小学校の今後の児童数の推移から、受け入れは可能と考えている。

---

（保護者）

北新宿地区において、この先もスクールバスの運行は続いていくと考えていいのか。

（事務局）

北新宿地区から下忍小学校は、市が定めている直線距離で2km以上の基準を超えているため、今後もスクールバスの運行は続けていく。

（保護者）

仮に大芦小学校と小谷小学校が吹上小学校と統合しなくても、北新宿地区における通学区域の変更と、それに伴うスクールバスの運行は行われるということか。

（事務局）

北新宿地区の通学区域の変更におけるスクールバス運行と3校の統合は、直接的な関係はないため、統合が行われなかったとしてもスクールバスは運行する。

---

---

(保護者)

仮に統合した際に、小谷小学校は2km圏外のためスクールバスは運行されると思うが、大芦小学校は圏内のため運行にならない。大芦小学校の通学区域でも土手の方に住んでいる2km付近の児童は統合することで不利益とならないか。

(事務局)

現状、大芦小学校に通学していることと比べると距離は遠くなる。しかし、他の市内の他の地域を見ると、同じような距離から通学している児童はいる。

スクールバスの運行内容については今後検討していくことになると思うが、2km圏内は基本的には徒歩での通学を考えている。

(保護者)

確認はしていないが、大芦小学校の保護者の大半が吹上小学校の通学区域を変更して、大芦小学校に移ってきてほしいと考えている。なぜ、大芦小学校に移ることが認められないのか。

(事務局)

審議会の議事録が手元にないため詳細までは話せないが、対象となる地域から賛同が得られていないのが大きな要因と考える。

また、現在、市内の出生数は700人程度で一時期の1,000人を超えていたころと比べると大きく減少している。子どもの人数が減少していく中、通学区域を変更して大芦小学校の人数を一時的に増やしても、問題を先延ばしにしていることになり、根本的な解決には繋がらないと考えている。

(保護者)

大芦小学校と小谷小学校の2校で合併する考えは。

(事務局)

今後、小谷地域の人数も減少していく。大芦小学校と小谷小学校を統合しても12～18学級の標準規模校にはならない。

(保護者)

小規模校が駄目という大人の考えは変わらないのか。子どもは不便を感じていない。大芦小学校の保護者は大芦小学校の特色に良さを感じて通わせているし、今後も通わせていく。小規模だから大きくしようという考えだけで、統合はどうなのか。

地域の農家の方々に協力してもらって行っている体験や授業もある。吹上小学校との統合により、今後同じように協力してもらえなくなってしまう場合もある。

人数が少なくて一桁になってしまっても、学区変更をすることでもう少し先に統合年度を伸ばすことはできる。

(事務局)

特色を無くすということは教育委員会としても考えていない。統合した後、どのよ

---

---

うにして特色を残していくのかということも含めて議論してもらいたい。

また、学区変更をして児童数を増やすのは、問題を先送りしていることになってしまう。小規模校の良さというのは十分に理解しているが、小規模校で出来ることは適正規模校でも出来るが、適正規模校で出来ることは、小規模校ではできないことが多々ある。

大芦小学校の特色を生かした上で、統合できる方法についても意見をもらいたい。

(保護者)

30人学級の案について国から発表されたと聞いた気がするが、統合において考慮されているのか。

(事務局)

30人学級ではなく35人学級がスタートしている。令和7年度までにすべての学年を35人学級にするようにという国の方針があり、鴻巣市においても順次対応している。吹上小学校との統合においても、もちろん35人学級に対応した形で計画している。

---

(保護者)

現在、吹上小学校では教室数が足りておらず、特別教室を使用することで対応しているという話を聞いたがどうなのか。

(事務局)

令和元年度か2年度だったかと思うが、以前は特別教室を使用することで、普通教室数を確保した経緯がある。現在は特別教室に戻っている。

(保護者)

令和6年度から段階的に下忍小学校に転校するという話だが、どのように移っていくのか。一斉に転校するのか、兄弟関係を考慮する等して段階的に移っていくのか。

また、令和9年度までにという適正配置等の計画についてだが、これにはコロナ禍という状況は考慮されているのか。統合し人数が増えることで、運動会等の学校行事への参加に対して、今以上に制約がかかってしまうのは避けたい。コロナの状況によって、統合年度を変更することもあるのか。

(事務局)

小規模校でも標準規模校でも同様に、これまでの取組を参考にコロナへの対策は進めていく。コロナの状況に限らず、今回示したものは計画であるため、理由はいずれにせよ統合年度が変更する可能性はもちろんある。

下忍小学校への通学区域変更については、経過措置期間を設けている。吹上小学校に残るか、下忍小学校に転校するかは、今年度中に意向確認を行う。

現時点では、この人数によっても大芦小学校との統合年度を検討していく必要があるため、少なくとも令和5年度以降であり、令和6年度から9年度と幅ももたせている。

---

---

(保護者)

PTA 活動などの保護者同士の擦り合わせ期間や子どもに対する説明というのは、令和9年度までという6年間で足りるのか。

コロナ禍の状況によっては、審議の凍結ということもあり得るのか。

(事務局)

現在は統合年度に幅を持たせているが、今回の審議会で具体的な統合年度が決められたとしても、何事でもそうだが、何かあった際には凍結や、遅延は可能性としてある。

笠原小学校と鴻巣中央小学校の統合の際には、統合が決まった後、PTA や教職員、地域の方々に統合準備委員会というものを立ち上げPTA 等の擦り合わせを含む統合に向けた準備について話し合っている。

大芦小学校と吹上小学校の統合においても同様に話し合う機会を設けていきたいと考えている。

(保護者)

笠原小学校の統合の際には、話し合う期間は、統合の話が合ってから何年くらい期間があったのか。

(事務局)

2年程度。しかし、笠原小学校の場合は平成27年度から統合の話があり、事前に保護者の中では統合後のことについても意見をいただいている。決定してから実際に統合するまでの期間は1年3ヵ月。

(保護者)

2kmといっても、通学路によって状況はまったく違う。大芦小学校付近は田んぼも多く、家が少ないため人の目が届きづらい。有事があった際に、避難するような所も少ない。また、田舎道で速度を出している車も目立つ。

市街地の2kmと同様に考えてはいけないのではないか。

(事務局)

スクールバスを運行するにあたって、基準というのはどうしても必要になる。

しかし、笠原地域では2km圏内であっても、安全が確保されていない箇所があるため全域でスクールバスを運行している。

統合となった際には、具体的なスクールバスの運用方法についても検討していく必要があると認識している。

---

(保護者)

執行部だけでなく、他の保護者にも意見を聞く機会を設ける予定はないのか。

(事務局)

予定している。大人数で意見交換会を行うと、お互いにかしこまってしまい、活発な意見交換会の場にならないことがあるため、まずはPTAの執行部のみを対象とした

---

---

少人数での意見交換会とさせてもらった。

今後、保護者全体や地域の方から意見を聞く機会を設けていく。

(保護者)

統合する方向性は決まっている中で、各方面から意見をもらうことに意味はあるのか。いくら意見をだしても、統合するという方向性に変更はないのではないか。

(事務局)

市教育委員会としても責任をもって検討した上でベストだと思う計画をお話ししている。児童の減少に対して別の解決策があるのであれば、統合という方向性を変更することもあると思うが、何もせずに先延ばしにするということは考えていない。

---

(保護者)

子どもの数が減少している以上、将来的に学校の数が減少するのはやむを得ないとは考えているが、吹上小学校の人数が多く、学区変更をすることで大芦小学校の児童数が確保できる以上、このタイミングで行うのはベストではないように思える。

自分の家の子どもは、吹上小学校ではなく大芦小学校だからこそすくすくと育ったのではないかと考えている。

適正規模校にするという大人の都合を押し付け、無理やりに進めるのではなく、将来的に通学での不安や吹上小学校の児童数の問題が解決できてからでも遅くはないのではないかと考えている。

---

(保護者)

北新宿地区の話というのは、大芦小学校や小谷小学校と一緒に進めていくべき話だったのではないかと考えている。北新宿地区の話を先に進めて、空いたところに大芦小学校と小谷小学校の児童を動かしているように思える。

最終的に少子化に対しての学校減少はやむを得ないが、他の解決策がある以上、今3校を統合するのは早い。

(事務局)

平成27年度に大芦小学校と小谷小学校と吹上小学校の統合の話があり、その後北新宿地区の通学路の安全性が問題点としてあがっている。

極端な話、北新宿地区の学区変更はなく、プレハブを建てることになったとしても、大規模校にならないのだとしたら、大芦小学校と小谷小学校の統合を進めていた可能性もある。

---

(保護者)

年長の最後のタイミングで、大芦幼稚園と保育園が統合されて、大芦こども園になった。幼稚園側は8人ほどの少数であったため、生活に馴染むことができずに統合後の4、5月に胃腸炎などでみんな休んでしまった経緯が過去にある。どうしても統合することで少数側にしわ寄せがいつてしまうように感じる。

吹上小学校と合併した際も、小谷小学校と大芦小学校のように少数側が病んでしまうことになるのではないかと不安。

---

---

(保護者)

少人数だとみんなが輝ける。委員会にも6年生からではなく、4年生から参加することで自主性と自己肯定感を育むことができる。

統合しなければ輝ける子どもは一定数いるし、逆に統合することで挫折を味わう子どももいると思う。

これから成長していく過程において、いつかは挫折を味わうことにはなるかもしれないが、それは今ではなくても良いのではないかと思う。

いつかは統合をしなくてはならないと思うが、5年後の令和9年度というのはあまりに急な話ではないか。もう少し長いスパン、できれば10年後くらいのスケジュールの方が良いのではないか。

とにかく全面的に反対。お金がないなら、お金がないと言ってもらいたい。

---

(保護者)

大芦幼稚園が子ども園になるときも説明がないまま進んでしまった。とにかく説明が大事だと思う。繰り返し説明をして、納得してもらってから統合するべき。

---

(事務局)

今回はスタートの意見交換会。この後、範囲を広げて説明会は行っていく。

笠原小学校のときも意見交換会を行っていく中で、たくさんの意見をもらった。

「このような児童数、一桁になる前にもっと早く動くべきだったのではないか」、「まだ統合するには早い」など様々。

令和9年度を期限としているのは、その年の入学児童が一桁になることが見込まれているため。一桁の人数になり、かつ、例えば男女比のバランスも崩れてしまった場合などは、現実的に学習活動に影響がでてくる。

一人一人輝けるというのは、小規模のメリットであることは分かっている。

このメリットを統合した場合の吹上小学校でも生かしつつ、小規模校のデメリットは無くしていきたい。

---

(保護者)

多くの人がいるところに入っていくのを苦手になっている子どももいる。

先ほども話しにでたが、少人数だから輝ける子どもというのも一定数いる。

---

(保護者)

1年生から吹上小学校というのであれば、子どもも保護者も頑張るが、転校というのは子どもにとってストレスになる。

吹上中学校に入学する際に、大人数に合流するというのは体験することにはなるが、このタイミングでそれを体験することに抵抗がある。

また、このような転換時にあたる児童へのケアというのも考えていかななくてはならない。

(事務局)

笠原小学校と鴻巣中央小学校の統合の際にも、統合準備委員会を立ち上げ、各校の

---

---

先生方の協力の下、交流事業を複数回実施し、児童の負担が軽減されるように努めた。

---

（保護者）

まず通学区域を変更した上で、それでも小規模校なのでということになれば、反対する方は少ないように感じる。そこの段階を踏まずにこの話をされても納得がいかない。

これまでの通学区域の変更の経緯でもあったが、こちらから通学区域の変更を再三お願いしているのに、そちらは白紙にして、統合というのはいかがなものか。

（事務局）

白紙というのは、教育委員会が下したのではなく、審議会の結果である。

審議会ではPTAや地域の方々を含む当事者同士が話し合い、通学区域の変更は行わないという結論になっている。

---

（保護者）

前回、この話が最後にされたのは10年以上前になるので、状況は変わっているかもしれない。現時点で通っている児童や保護者の方は違う意見をもっているかもしれない。

（事務局）

通学区域を変更し、吹上小学校の児童を一度、大芦小学校に変更しても、今後の全国的な少子化の影響から、児童数の減少を見込むと、未来永劫大芦小学校を残すということではできないと思う。その際、再度吹上小学校に通学区域が戻るというのは、結果的に、該当となる児童と保護者を振り回すことになってしまうのではないか。

将来的に児童数の増加が見込まれない現状では、通学区域の変更という一時しのぎではなく、統合により標準規模校化を進めていく方が良いのではないかと考えている。

---

（保護者）

その部分の説明は非常に大事になってくる。

どのような経緯で、こういう状態になっているということを知っているのと知らないのでは、納得の仕方は違ってくるように思える。

それでも納得できない部分はあるかもしれないが、今後は、これまでの経緯を踏まえて説明をお願いしたい。

---